

第7回「図書館レファレンス大賞」募集要項

1. 趣旨

ここ一年余り、社会全体がコロナ感染拡大の影響を受けています。図書館も同様に、休館や開館時間の短縮、利用制限などを余儀なくされた図書館も多いようです。

そんなウイズコロナの「新しい日常」にあっても、図書館はレファレンスサービスを通じて正確な情報を発信し続けることで、いっそう利用者からの信頼を高めていくことが求められます。

第7回を迎える図書館レファレンス大賞も、これまで同様に、質問・回答の事例と、レファレンスサービスの利用促進に向けた取り組み事例の2タイプを募集します。

特に今回は、コロナ感染の終息やワクチン接種に関わって、多くの人びとに図書館レファレンスの役割・機能を知っていただけるような回答事例や利用促進の取り組みも授賞対象とする予定です。館種を越えて医療関係者と連携することで問題解決を図ったレファレンスサービスなども対象となりますので、ふるってご応募ください。

2. 主催

図書館レファレンス大賞実行委員会

3. 後援（予定）

文部科学省、公益社団法人日本図書館協会

4. 協賛

公益財団法人図書館振興財団

5. 協力

図書館総合展運営委員会

6. 募集

① 募集する内容

以下のいずれかの事例を募集し、審査にもとづき優れたものを表彰します。

- a) 平成30年度以降に図書館及び図書館利用者が体験したレファレンスサービスの質問・回答の事例
- b) 平成30年度以降に実施されたレファレンスサービスの利用促進を図る取り組み事例

なお書類審査にあたっては、応募する図書館の館種や蔵書規模等について考慮しますので、応募様式の所定欄に、おおよその蔵書冊数（原則として令和3年3月末日現在で、その図書館の開架および閉架の合計冊数）を「万冊」単位でご記入ください。同一自治体や同一大学に複数の図書館がある場合、それら全体の合計値ではありません。

② 応募できる方

- ・図書館（機関または職員。図書館の館種や規模は問いません。）
- ・図書館利用者（個人または法人・団体（公益法人、NPO法人、自治体等））

※応募は1応募者につき、1件とさせていただきます。

7. 募集期間・応募方法

募集期間は、令和3年7月1日（木）～8月31日（火）とします。

（別添）の応募様式により、「9. 問合せ先・応募先」へ提出してください。

応募書類は原則としてメールでご提出ください。郵送でご提出いただく場合は、8月31日（火）必着とさせていただきます。

応募様式は、本事業の公式ウェブページからダウンロードできます。

8. 審査方法及び授賞

- ① 応募書類は以下の基準にもとづき、別に設ける審査員会が審査します。
 - ・応募事例は、図書館のレファレンス質問・回答またはレファレンスサービス利用促進の事例であるか。
 - ・応募事例は、他の図書館および図書館員にとって参考となる優れた事例か。
 - ・応募事例をもとに、今後レファレンスサービスの普及・発展が期待できるか。
 - ・応募事例に、その他特筆すべき特長が見られるか。
- ② 審査は、まず書類審査を行い、上位3件がプレゼンテーション審査に進みます。プレゼンテーション審査に選定された応募者（グループ）には、10分程度のプレゼンテーション動画を作成していただき、それをもって最終審査を行います。
 - ・10月4日までに、最終審査へ進む3件および審査員会奨励賞を発表。
 - ・10月22日までに、最終審査へ進んだ3件はプレゼンテーション動画を提出。
 - ・10月25日～31日に、プレゼンテーション動画について、対象3件と審査員の間でメールによる質疑応答。
- ③ 最終審査に先立ち、審査員会奨励賞ほか（最大5件程度）を選定します。特に今回はコロナ感染終息に向け優れた事例への授賞を検討します。
- ④ 第23回図書館総合展開催期間中の令和3年11月8日（月）に開催される最終審査を経て、文部科学大臣賞、公益財団法人図書館振興財団賞、審査員会特別賞等の授賞を発表します。オンラインでの放送となります。
- ⑤ プレゼンテーション審査に選定された応募者には10月4日（月）までにプレゼンテーション動画の作成を依頼いたします。形式等詳細は追ってお知らせします。
- ⑥ 書類審査で選定されなかった応募者へは連絡しませんので、予めご了承ください。

9. 問い合わせ先・応募先

図書館総合展運営委員会

〒160-0002 東京都新宿区四谷坂町 10-10 株式会社カルチャー・ジャパン内

TEL: 03-3357-1462 FAX: 03-3357-2814

e-mail: LF@j-c-c.co.jp ホームページ: <https://www.libraryfair.jp/>